

あなたに寄り添い、今日も動く！



# よいたまみ通信

第2号  
2019年早春号

発行：依田 眞美子松原市議会議員  
〒580-0044 松原市田井城 2-2-2-402  
TEL&FAX：072-334-2281



ごあいさつ

平成最後となる本年を迎え名残惜しい思いと、新たな年号に心躍る思いに溢れるなかで、『よいたまみ通信』第2号を発行させて頂きました。

今号は、昨年12月に行われた第4回定例会での、個人質問をまとめ掲載させて頂きました。1点目には、「健康増進に向けて」。2点目には、「高齢者施策について」。3点目には、「本市独自の奨学金制度について」質問致しました。壇上では、公明党が今までに推進してきたがん対策や、がん予防の基本となるマンモグラフィーの全国配備、「女性特有のがん検診無料クーポン」、「コールリコール」など、提案し実現したことを申し述べました。また「がん教育」の重要性、独居高齢者への手立て、最後に、進学を希望する子どもが、意欲的に受験できる配慮ある奨学金制度にと質問を結びました。これからは質問の角度など、もっと学び、力をつけていきたいと強く思いました。

最後に2019年が、災害や天災に見舞われない1年であるよう、また皆さまの更なるご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も誠実に頑張って参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

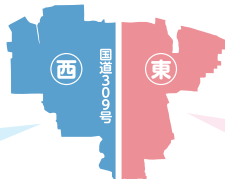


## 地域包括支援センター 元希者(高齢者)ご相談窓口

市内を国道309号線で東西に分担しています

＜309号線 西側 松原徳州会＞

☎072-334-3439



＜309号線 東側 松原市社会福祉協議会＞

☎072-349-2112

松原でお住まいの元希者(高齢者)の皆さんが、いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるようご相談を受けています。生活の中で、困りごとや心配なことはありませんか？ 介護・福祉・健康医療のことなど、何でもお気軽にご相談ください。

高齢者を狙った電話詐欺が  
松原でも発生しています!!

**絶対にない!**

銀行員、役所職員、警察官が  
キャッシュカードを預かる。  
カードの暗証番号を尋ねる  
ことはありません!

## よいまみの 活・動・報・告



新春街頭(天美駅前)

街頭演説を  
実施しました!



成人の日記念街頭(松原駅前)



道路補修



田井城3丁目付近

# 個人質問



## 1 健康増進にむけて(がん検診の受診率の向上について)

**問** 1日でいろんな検診をセットで受診できるのは、とても利便性の向上につながるよい取り組みだと思うが、受診勧奨はどのようにされているのか。

**答** 子宮がんは20歳、乳がんは40歳の女性の方にクーポン券を送付し、検診の啓発も兼ねて受診していただくよう努めている。40歳代から60歳代の方には、受診勧奨のハガキを送付している。コールリコール(未受診者への再度呼びかけ)にも取り組んでいる。

**問** 近年、若い方ががんに罹られると聞か、AYA世代と言われる15歳から39歳までの若い世代の方に対する本市の取り組みは。

**答** 乳がん検診については、平成22年度より市独自で20歳代のエコー検診を実施、子宮がん検診についても、平成17年度より20歳代の検診を開始。胃がん検診も、市独自の取り組みとして30歳代より受診できるようにしている。

**問** 若い世代に限らず、市で独自に実施している検診は。

**答** 40歳から前立腺がん検診や胃ピロリ菌検査などを実施している。



**問** 子どもたちが健康で過ごしていけるための学校における健康教育、特に「がん」に関する健康教育が重要だと思う。現状と具体的な取り組み内容は。

**答** 小学校では、体育の保健分野で「病気の予防について理解できるようにする」とあり、中学校でも「喫煙と健康について理解をできるようにする」とあり主に生活習慣と関連して指導している。

**問** 今後実施される新しい学習指導要領にも明記されたことで、具体的にどのように進めていくのか。

**答** 指導する教員への研修を実施し、がん教育の目的やこれまでの指導内容との違いなどを学ぶことが必要。専門的な内容を含むため、国では、医療関係者やがん患者等を招いての学習も想定している。

**問** 推進にあたって、配慮すべきことは。

**答** 目の前の子どもたちの実態の把握に基づいて進めていくことが必要。家族にがん患者がいる子ども、家族をがんで亡くした子どもたちへの配慮をしながら、指導の計画を考えていく。

**要望** がんは、早期発見、治療により治せる病気へとかわりつつある。子どもたちが、正しい知識を学び、また命の大切さについて、理解を深める「がん教育」の推進をお願いしたい。

## 2 高齢者施策について

**問** 過去からの推移を含め、松原市の一人暮らしの高齢者世帯は。

**答** 平成27年度が6986世帯、平成22年度が5516世帯、平成17年度が4229世帯。10年間で、約1.65倍の増加している。

**問** 市が行っている高齢者等々への給食サービスは、どのようなものか。

**答** 食事づくりが困難な高齢者の方に昼食を配食することで、健康の維持及び疾病の予防を図るとともに、利用者に手渡しすることで安否確認が可能であり、安心して生活していただくための支援。



**問** 男性の独居高齢者が、地域で孤立してしまっているのではと考えるが、その方々へ対しての老人クラブの見守り活動とは。

**答** 友愛訪問として活動を行い、必要に応じて、市や地域包括支援センターへつなぎながら、地域に出て頂けるよう働きかけている。



**問** 社会福祉協議会が中心となって地区福祉委員など、地域の方が関わっている高齢者等見守りチームとは。

**答** 町会・民生委員・児童委員、老人クラブが協力して、「安心チェック訪問」と称し年1回訪問。高齢者等見守りチームは、現在17地域あり、その地域に住む高齢者を対象に、状況把握を行い、専門機関を交えた検討会議を開き、具体的な福祉サービスにつなげる連携システム・地域ネットワークの構築を進めている。

**問** 活動の中で、男性の一人暮らしの支援でうまくいった事例などは。

**答** 妻を亡くしたことで生きがいを失っている70歳代の方がいると福祉委員に相談があり、見守り声かけ訪問を実施、行事参加の呼びかけを続けるなか、福祉委員が企画した男性の料理教室に参加。その後、積極的にボランティア活動、地域の行事に参加するようになった。

**要望** 担当の方々がミーティングを行い、一人に寄り添え、何かの小さなきっかけを見つけることのできる細やかな支援をしていただきたい。



## 3 本市の奨学金制度について

**問** 対象は、どのような資格の人で、いくら借りられるのか。

**答** 松原市内に住所を有し、高校及び専修学校へ入学する生徒で、必要な経費の支払いが困難な方に、5万・10万・15万の3つから選択。

**問** 今後の市としての奨学金の考え方は。

**答** 国の動きとして、住民税非課税世帯を対象とした高等教育の無償化を実現するため、2020年4月より、大学・短大・高専・専門学校の授業料減免及び給付型奨学金を大幅拡充すること

を目指し、その経費には、受験料も計上予定だと聞いている。本市として、このような動きも注視しながら、研究していく。

**要望** 大学等の受験料の準備に際して、市や国の役割分担でフォローしきれない世帯が出てきている。受験料貸付制度については、卒業を条件に返還はしなくてもよいような制度について考えていただきたい。高校の無償化など大きく状況が変わってきている昨今、志ある子どもたちが安心して進学できるよう、更なる奨学金制度の見直しをお願いしたい。